

岩手県感染症週報

平成15年第12週（3月17日～3月23日）

岩手県結核 感染症情報センター

第12週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（全数把握対象疾患）

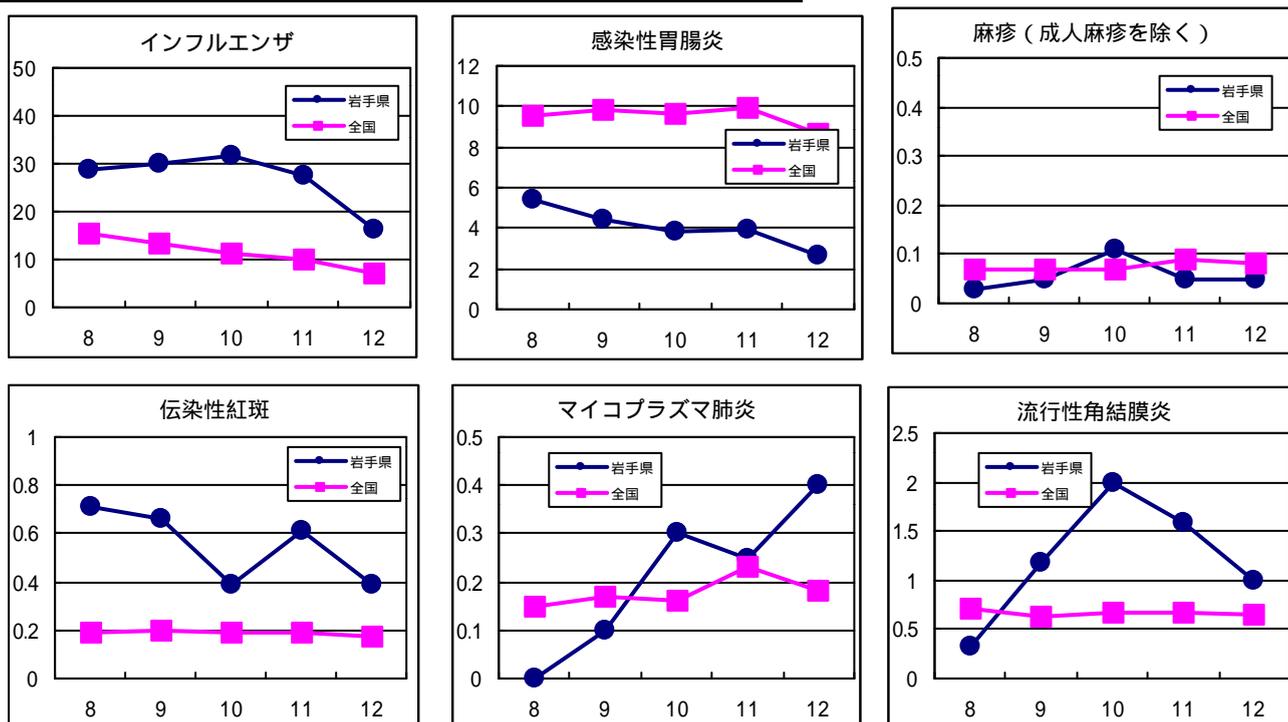
- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・インフルエンザは先週に引き続き減少しています。この週の県内の定点当たり患者数は、前週の27.6 から 16.4 とピーク時の約半分となりました。この時期、小・中学校は春休みに入っているため、流行はこのまま終息に向かうものと思われます。この週、県内でインフルエンザ流行警報（定点当たり患者数 30 以上）が発令されているのは北上地区のみとなりました。
- ・流行性角結膜炎は久慈地区で流行が続いており、同地区では定点当たり患者数が 9.0 と横ばいです。流行性角結膜炎は感染力が強く、手などを介して容易に感染するので注意が必要です。
- ・感染性胃腸炎は、全国では増加傾向にありますが、本県ではゆるやかに減少を続けています。
- ・麻疹は依然として一関地区で患者の発生が続いています。今後の動向に注意が必要です。
- ・アジアを中心に感染が広がっている重症急性呼吸器症候群（SARS）について、世界保健機関（WHO）では、3月26日までに、世界15カ国・地域でこれまでに少なくとも1323が感染し、49人が死亡したと発表しました。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		8	9	10	11	12	
インフルエンザ	岩手県	28.79	30.05	31.55	27.63	16.42	
	全国	15.56	13.26	11.14	9.84	7.1	
咽頭結膜熱	岩手県	0.03	0	0	0	0	
	全国	0.08	0.06	0.08	0.09	0.07	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.82	0.5	0.84	0.61	0.71	
	全国	1.16	1.28	1.32	1.4	1.25	
感染性胃腸炎	岩手県	5.39	4.47	3.87	3.95	2.66	
	全国	9.57	9.81	9.67	9.91	8.61	
水痘	岩手県	0.92	1.03	1	1.29	1.18	
	全国	1.81	1.79	1.85	1.83	1.73	
手足口病	岩手県	0	0.05	0.03	0	0	
	全国	0.08	0.1	0.11	0.15	0.11	
伝染性紅斑	岩手県	0.71	0.66	0.39	0.61	0.39	
	全国	0.19	0.2	0.19	0.19	0.17	
突発性発疹	岩手県	0.45	0.58	0.34	0.58	0.45	
	全国	0.64	0.64	0.63	0.68	0.62	
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0.01	
風疹	岩手県	0.03	0.03	0	0.05	0	
	全国	0.01	0.02	0.02	0.03	0.02	
ヘルパンギーナ	岩手県	0.03	0	0.03	0	0	
	全国	0.03	0.02	0.03	0.04	0.04	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.03	0.05	0.11	0.05	0.05	
	全国	0.07	0.07	0.07	0.09	0.08	
流行性耳下腺炎	岩手県	1.24	0.76	1.18	1.16	0.61	
	全国	0.56	0.51	0.58	0.62	0.52	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	
流行性角結膜炎	岩手県	0.33	1.17	2	1.58	1	
	全国	0.71	0.62	0.67	0.67	0.65	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.01	0.01	0.01	0	0	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.01	0.01	0.01	0	0	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0	0.1	0.3	0.25	0.4	
	全国	0.15	0.17	0.16	0.23	0.18	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.02	0.01	0	0.01	0	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		8	9	10	11	12	累計	12	累計
一類感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	2	6
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	6	8	117
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	16
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	5
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	6	99
四類感染症	アメーバ赤痢	0	1	0	0	0	1	4	112
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	4
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	1	0	0	0	0	1	1	9
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	1	0	0	1	0	3	7	193
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	2
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	0	24
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	22
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	8	177
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	2	13
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	7
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	0	28
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	5
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	1	97
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	11
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	14
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	18
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	0	33
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

「ウエストナイル熱」が平成14年11月から新たに四類感染症に指定されました。

今注目の感染症

重症急性呼吸器症候群（SARS）

アジアを中心に患者が発生している原因不明の重症急性呼吸器症候群（SARS）について

重症急性呼吸器症候群（SARS）について、世界保健機関（WHO）は、3月26日までに、世界15カ国・地域でこれまでに1323人が感染し、49人が死亡したと発表しました。

日本では、厚生労働省SARS対策専門委員会が、3月25日までに同省に報告があった疑い例7例、可能性例1例についてはSARSではないと判定しました。その後、広島県から可能性例の報告が1例ありました。また、同省は3月27日、感染源とみられる患者が滞在していたホテルに日本人77人が宿泊していたとして、都道府県に情報提供に努めるよう指示しました。このホテルは九竜地区の「メトロポールホテル」で、2月18日～3月3日に宿泊していた香港、カナダ、シンガポール人の感染が確認されています。

香港では、同一グループの北京ツアーの参加者35人のうち9人の感染が確認されており、残りの26人について調査中です。また、香港特別行政区政府は3月27日、感染者の家族の行動制限や、大学を除くすべての学校や幼稚園を4月6日まで休校とするなど、感染拡大防止策を発表しました。

シンガポールでは、感染の可能性のある約700人が10日間の自宅隔離とされました。シンガポール保健省は3月26日、患者2名が死亡したことを発表しました。教育省は予防措置として幼稚園から高校まで全園・全校（約60万人）を27日から11日間休校とします。

中国広東省政府は、昨年11月から2月末までに792人が感染し、31人が死亡したと公表しました。このうち州都広州市で680人が感染し、24人が死亡したとされています。これは、WHOの専門チームが現地を訪れ、調査してわかったもの。

カナダ・オンタリオ州政府は3月26日、SARS患者が州内で27人に達し、うち3人が死亡したと発表し、非常事態を宣言しました。

これまでにWHOに報告された各国のSARS患者数と死亡者数の内訳は以下のとおりです。

：死亡を含む患者数（死亡者数）		
香港：367（11）	中国：792（31）	シンガポール：74（1）
ベトナム：58（4）	米国：40（0）	カナダ：19（3）
台湾：6（0）	ドイツ：4（0）	タイ：3（0）
英国：3（0）	イタリア：3（0）	スイス：2（0）
アイルランド：2（0）	フランス：1（0）	

WHOは「SARSの原因はパラミクソウイルスの一種であるメタニューモウイルスである可能性が高い」と発表しました。一方、米疾病対策センター（CDC）は「風邪症状を起こすコロナウイルスの新種が患者から見つかった」と発表しました。複数の病原体による感染の可能性もあり、今後の調査結果が待たれます。

WHOによると、3月24日までに患者が発生した地域は以下のとおりです。

カナダ・トロント	中国・広東省	香港	台湾
シンガポール	ベトナム・ハノイ		

SARSの主な症状は、38度を超す熱、頭痛、のどの痛み、せきや呼吸困難などで、インフルエンザによく似ています。潜伏期間は2～7日。厚生労働省は医療機関に対し、流行地から帰国して10日以内にこのような症状が出た患者はSARSを疑い、報告するよう通知しています。

病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液からA香港型インフルエンザウイルスを4例、B型インフルエンザウイルスを2例検出しました。

集団感染情報

この週には、集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

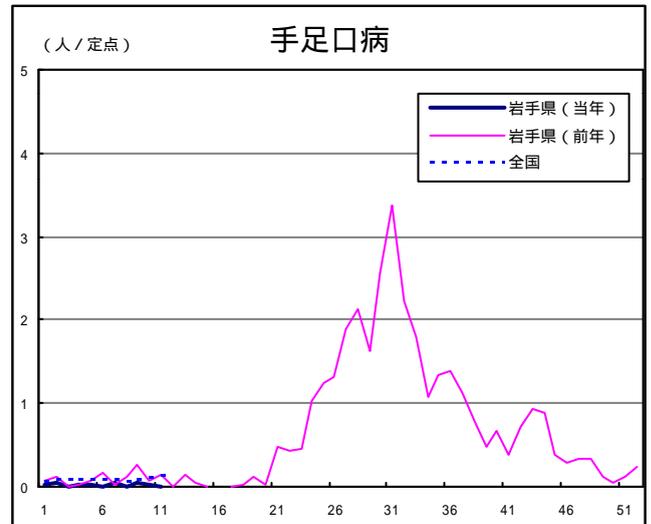
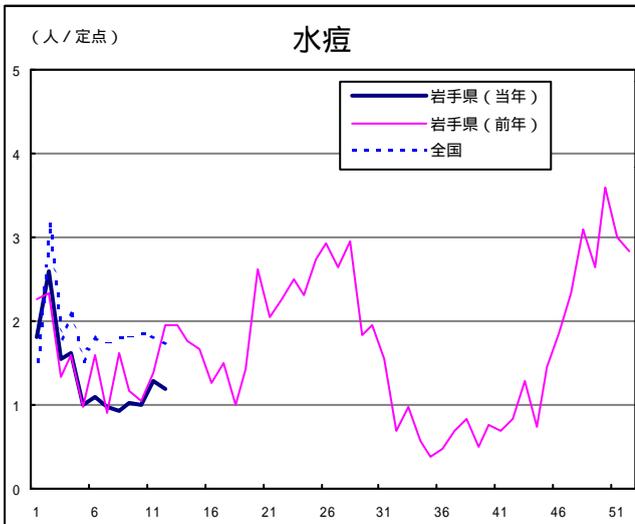
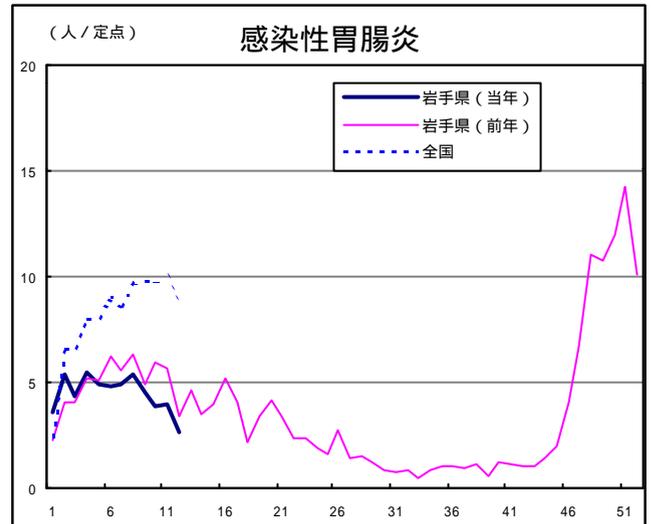
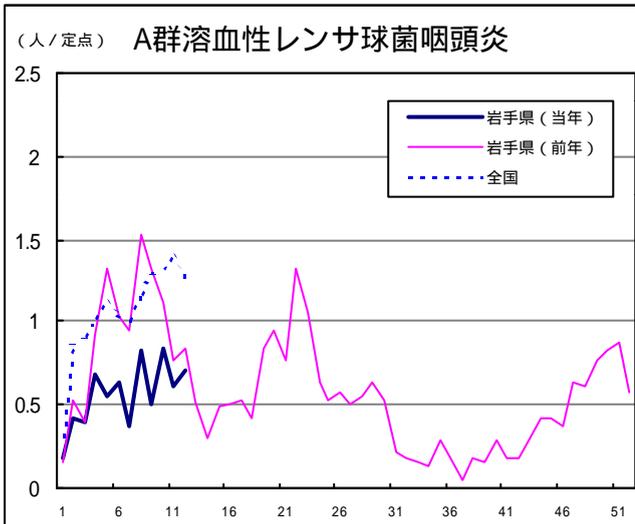
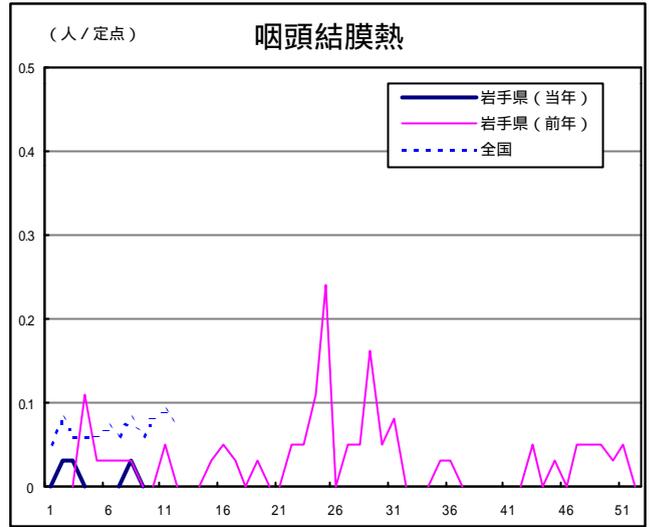
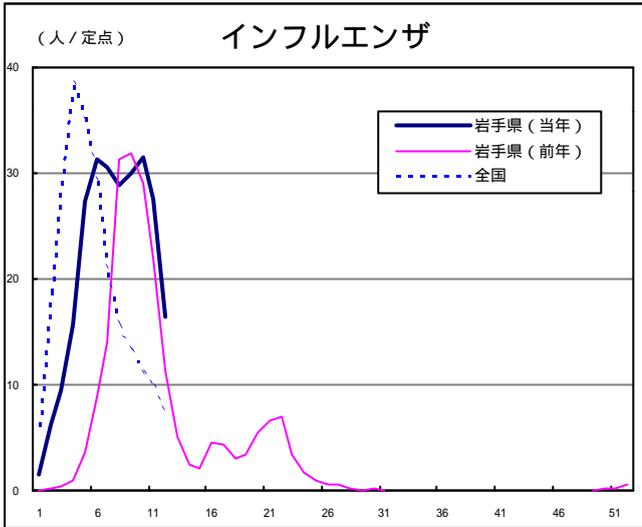
医療機関からの情報はここに掲載します。

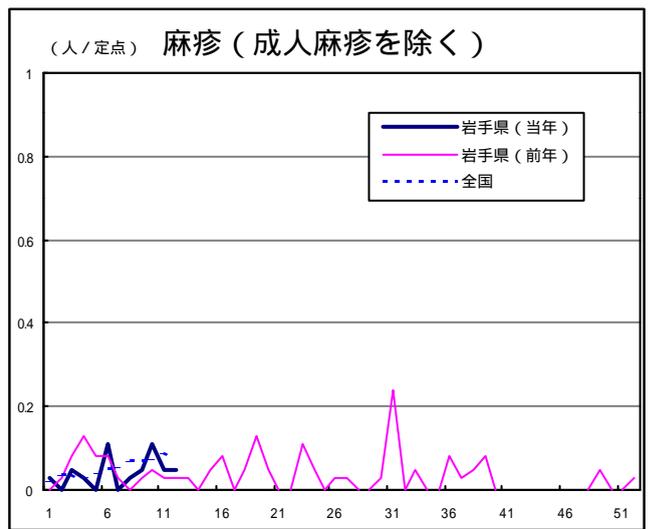
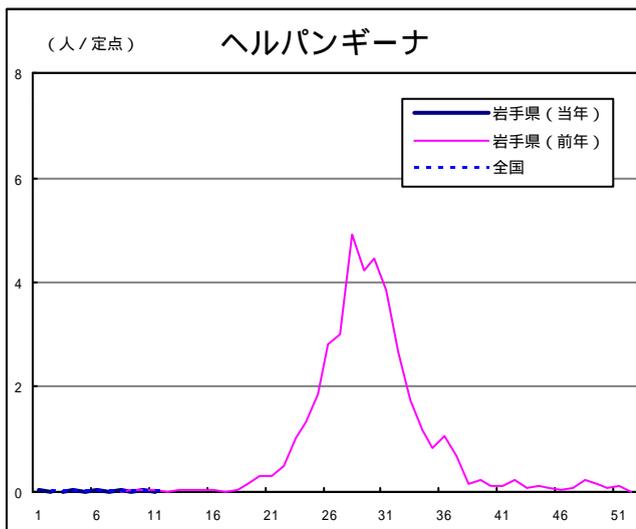
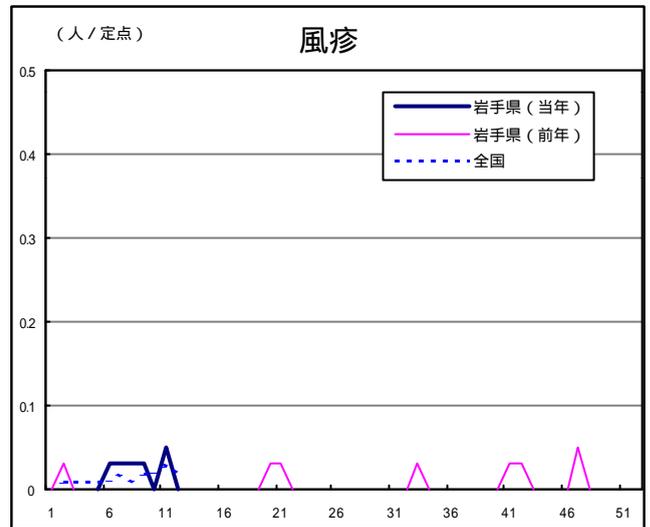
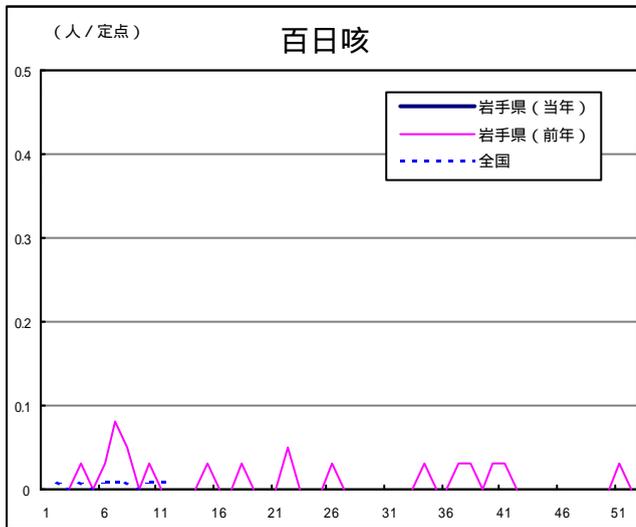
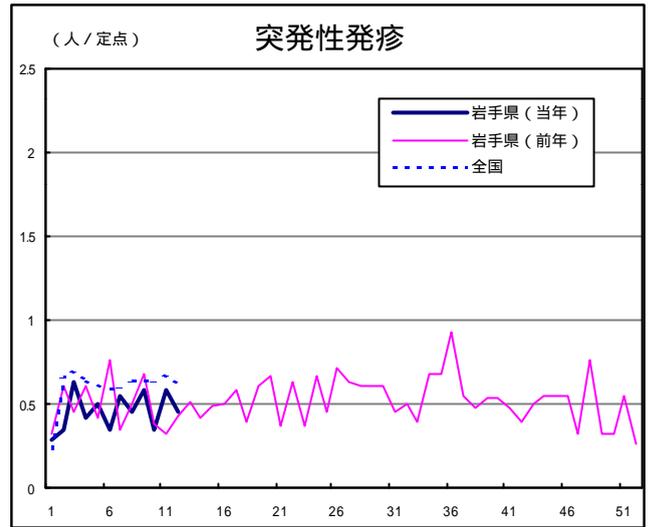
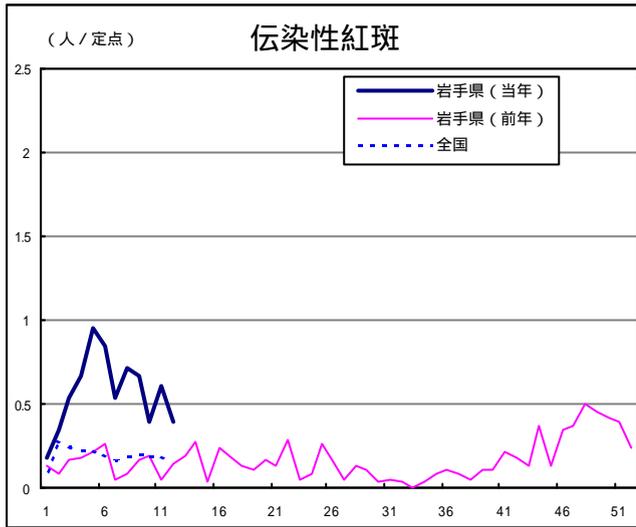
Q & A

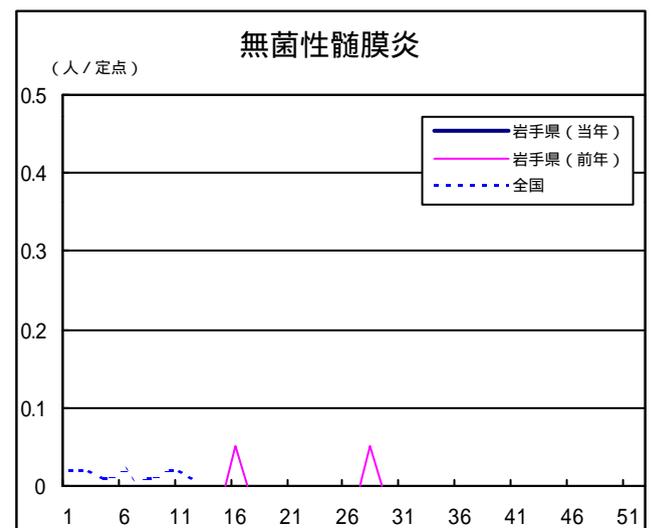
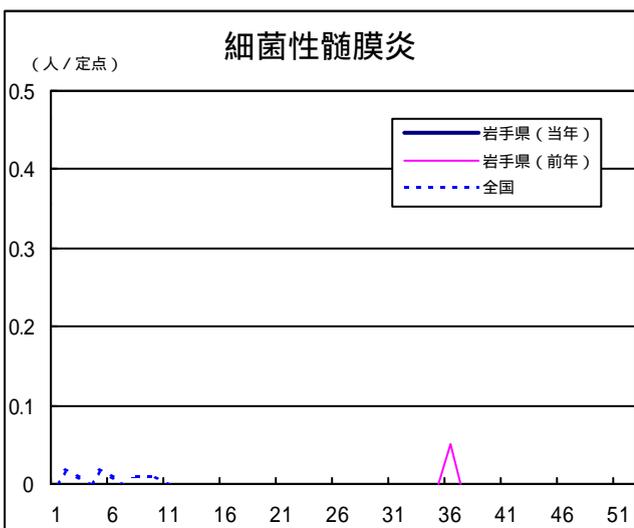
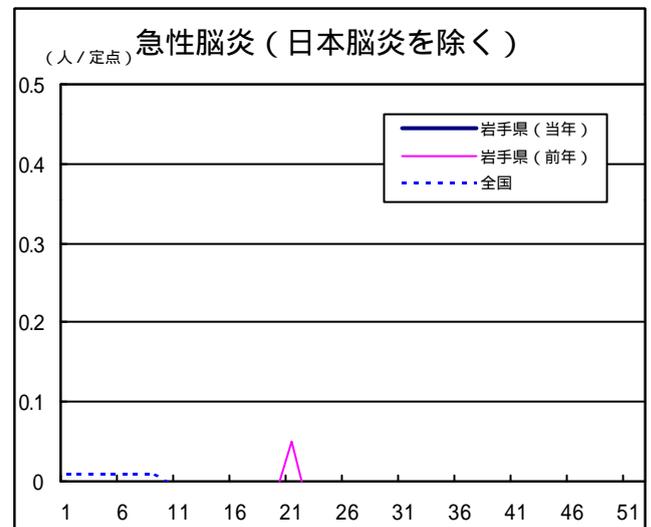
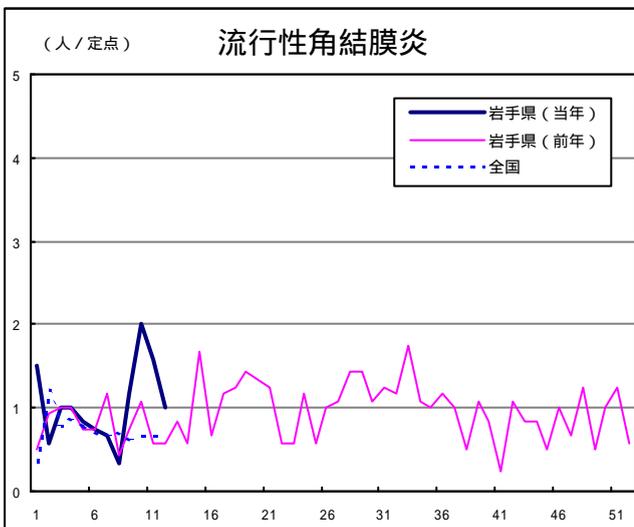
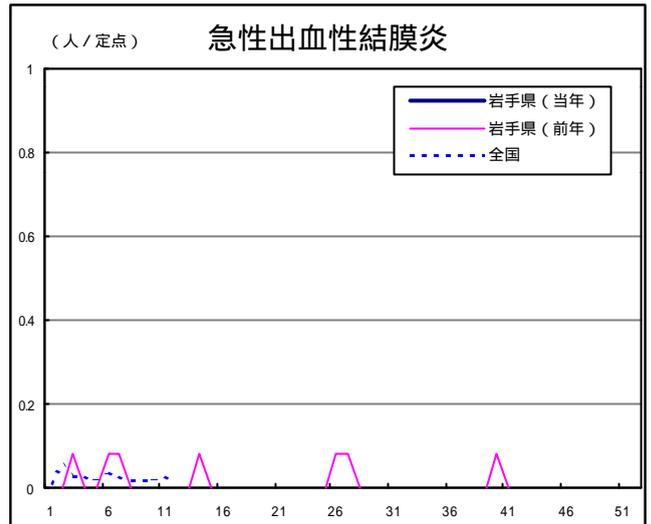
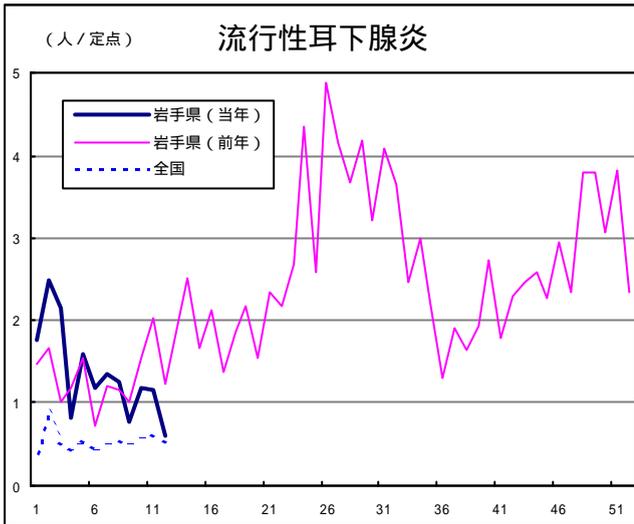
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

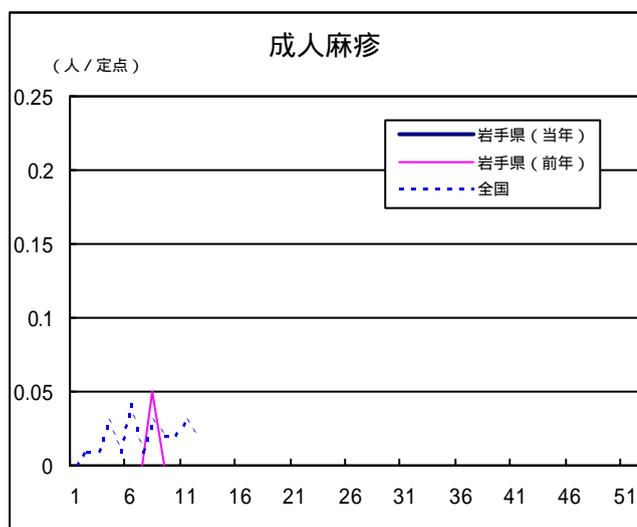
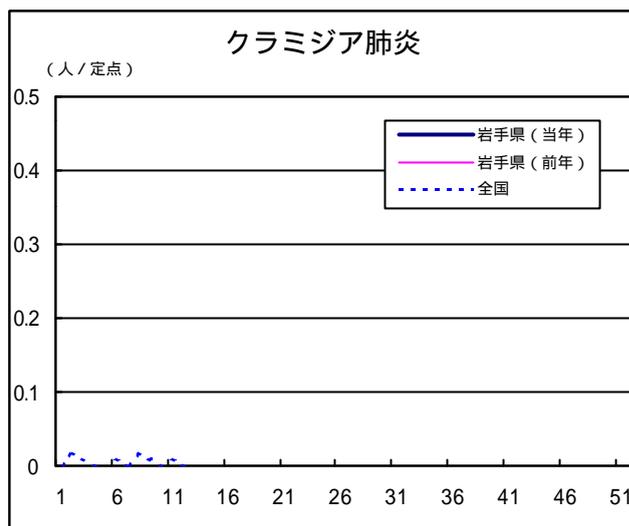
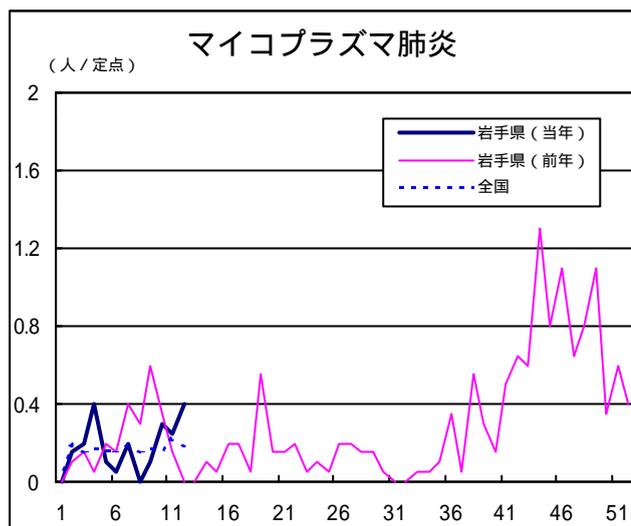
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」の配信を始めました。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成15年第12週 平成15年3月28日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>